

フリガナ ご氏名	シブヤ トシオ
	渋谷 俊夫
企業・団体名	大阪府立大学
所属 (企業・団体の)	生命環境科学研究科
役職	准教授



ご略歴	1971 年生まれ。1994 年に千葉大学園芸学部園芸学科卒業，1999 年に同大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了し，博士（農学）を取得する。1997 年から 1999 年に機械工学流動研究員として茨城県農業総合センターに勤務する。1999 年に大阪府立大学農学部助手として着任する。2000 年に同大学大学院農学生命科学研究科助手に，2005 年に同大学講師に，2009 年に同大学准教授となり，現在に至る
専門および得意な分野・研究	専門は生物環境調節学で，生理生態学的手法・工学的手法にもとづいて，園芸生産における植物の環境応答の計測・制御を行っている。
セミナータイトル	「温湿度計測の基礎」，「光計測の基礎」
セミナー概要	施設園芸において環境制御を正しく行うためには，環境計測を正しく行うことが不可欠である。環境を正しく計測するには，計測の原理を理解することが重要である。例えば，ガラス製の温度計について考えてみると，温度計の示す値は，ガラス棒内の液体の体積の変化を示しており，温度を直接示しているものではない。では，目盛が指し示している値は何にもとづいて決められ，どのようなときに測りたい温度を正しく示すのだろうか。ここでは温度計測を事例として，計測を正しく行うための基本的な考え方について解説する。さらに，光環境を正しく評価する方法について，さまざまなセンサを用いたデモンストレーションを交えて解説する。
ご講演中のキーワード	計測のトレーサビリティ，温湿度センサ，光センサ，人工光源
本セミナーで習得できること	<ul style="list-style-type: none"> ・計測におけるトレーサビリティ体系の重要性が理解できる。 ・温度センサの特性と正しく計測するために必要な点が理解できる。 ・光に関する単位系（日射量，光量子束密度，照度）が理解できる。 ・光センサの特性と人工光源の特性が理解できる。